

市議会だより

題字：伊田 えみり 絵美梨さん(有福温泉小学校5年)



改選後の江津市議会

6月定例会市議会報告

2010.8
No.103

☆新議会体制決まる	2
◆補正予算審議	4
◆常任委員会審議	5
◆議決結果	12

平成22年 6月(第4回)定例会日程

6月10日	本会議 (議長・副議長・組合議会議員選挙・委員選任表彰伝達)
15日	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (請願・陳情・質疑・委員会付託) (議案上程・提案説明・質疑・委員会付託) (一般質問)
16日	本会議 (一般質問)
17日	委員会 (総務文教委員会)
18日	委員会 (建設厚生委員会)
21日	委員会 (予算委員会)
25日	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (委員長報告・質疑・討論・採決)

6月議会定例会

平成22年第4回議会定例会が、6月10日から25日までの16日間の日程で開かれ、平成22年度補正予算を始め、市長提出議案28件、議員提出議案4件が審議され、いずれも原案のとおり同意、承認及び可決されました。

また、一般質問では9名の議員が市政全般にわたって、市長の考えをただしました。



審議の様子 (同意議案より～起立採決～)

就任のあいさつ



土井 正人 議長

この度、議員の皆さんの推挙により議長に就任させていただきました。江津市議会は、今回の選挙で定数が24人から16人となりました。今まで進めてまいりました議会改革を推し進め、市民の皆様が目線に立ち、更なる開かれた議会を目指してまいります。

大変厳しい市政運営ではありますが、議会としましては全員が切磋琢磨し一丸となって、この難局を乗り切っていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

個々の英知を結集し組織力を高め、日々研鑽し企画力を養い、つながりを深め調整力を身につけ、お互いに認め合い、磨き合い、高め合い、支え合い、そして、個々の持ち味を活かしつつ総力を結集する時です。一人一人の力はわずかですが、その力を結集すれば大きな力になります。議員の力を結集し、スクラムを組んで行動を起こす組織体となり、難局に立ち向かいます。未来を語る先見性を持つ議会、自らが学び創造し、夢を語りともに感動する、自己変革と協働できる議会を議長とともに目指します。



河野 正行 副議長

個々の英知を結集し組織力を高め、日々研鑽し企画力を養い、つながりを深め調整力を身につけ、お互いに認め合い、磨き合い、高め合い、支え合い、そして、個々の持ち味を活かしつつ総力を結集する時です。一人一人の力はわずかですが、その力を結集すれば大きな力になります。議員の力を結集し、スクラムを組んで行動を起こす組織体となり、難局に立ち向かいます。未来を語る先見性を持つ議会、自らが学び創造し、夢を語りともに感動する、自己変革と協働できる議会を議長とともに目指します。

議会の新体制決まる

- 議長に **土井正人** 議員
- 副議長に **河野正行** 議員

〔投票結果〕

◆議長選挙		◆副議長選挙	
投票総数	16票	投票総数	16票
・土井	12票	・河野	12票
・山本	3票	・山本	3票
・多田	1票	・多田	1票

<建設厚生委員会/8名>

- ◎委員長 茅島 昇
 ○副委員長 山根兼三郎
 委員 多田伸治、島田修二、盆子原民生
 土井正人、田中直文、福原昭平

改選後、委員長に就任し、重責を痛感するところでございます。機構改革により、所管は5部11課2室他で議会始まって以来の多くを担当します。地域経済や地場産業の支援と市民生活の改善、障害者福祉、高齢者、子育て等の対策について課題が山積する中、委員の皆さんと慎重に審議し、市民にとって最良となるよう委員会運営に努力致します。

委員長 茅島 昇

<総務文教委員会/8名>

- ◎委員長 石橋孝義
 ○副委員長 森脇悦朗
 委員 横田省吾、藤間義明、河野正行
 藤田 厚、山本 誉、永岡静馬

改選に伴う新しい委員会構成において委員長に選任いただきました。光栄であり、この職責をしっかりと果たして参ります。当委員会の所管は、総務・教育・会計等広範囲にわたりますが、特に行財政運営については市政の最重要課題であり、皆様の負託に応えるよう努力して参ります。

委員長 石橋 孝義



予算委員会・現地調査で「有福温泉総合観光開発事業」の説明を受ける(6月21日)

<予算委員会/14名>

- ◎委員長 永岡静馬
 ○副委員長 藤田 厚
 委員 議長及び監査委員を除く12名

この度、改選後の6月市議会において予算委員会委員長に選任いただきました。江津市を取り巻く状況は、人口減少に起因する少子高齢化による税収の減少とともに、増大する社会福祉費や生活インフラ整備などに基金を取り崩しつつやり繰りしている現状です。山積する行政課題に対応しつつ、市民の負託に応えられる委員会となるよう尽力を怠りません。

委員長 永岡 静馬

〔地域医療対策特別委員会/6名〕

- ◎委員長 福原昭平
 ○副委員長 山根兼三郎
 委員 島田修二、茅島 昇、盆子原民生
 永岡静馬

〔議会運営委員会/6名〕

- ◎委員長 福原昭平
 ○副委員長 石橋孝義
 委員 茅島 昇、河野正行、藤田 厚
 山本 誉

〔議会広報・情報公開対策特別委員会/6名〕

- ◎委員長 森脇悦朗
 ○副委員長 島田修二
 委員 多田伸治、横田省吾、河野正行
 藤田 厚

〔議会改革特別委員会/8名〕

- ◎委員長 河野正行
 ○副委員長 森脇悦朗
 委員 山根兼三郎、茅島 昇、石橋孝義
 藤田 厚、山本 誉、永岡静馬

一般会計
補正予算**12億5,811万円増**

骨格(当初)予算に肉付け。予算総額148億5,811万円 (参考)昨年度同月予算総額は157億2,853万円

特別会計補正予算
(公共下水道事業)**1億6,325万円増**

＜平成22年度6月補正予算の主要事業＞

事業名	予算額	事業の概要
学校給食センター建設事業	3億9,700万円	旧済生会病院跡地に学校給食センターを建設するもの。平成22、23年度の2カ年の継続事業として実施し、平成23年の2学期からの供用開始を目指す。
公営住宅建設事業	2億5,900万円	老朽化した県営住宅・市営住宅5棟の建設を平成22年度・23年度2カ年計画で行うもの。
有福温泉総合観光開発事業	8,200万円	有福温泉観光振興のため、温泉街の回遊ゾーン整備、神楽演芸場の整備を行うもの。
地域医療支援対策事業	1,400万円	済生会江津総合病院の病床維持等に対する支援策として交付するもの。
緊急経済・雇用安定化対策事業	300万円	解雇された離職者を1年以上雇用する事業主に、当該労働者に支払う賃金の一部を補助する雇用対策。
公共下水道事業(江津西処理場増設事業)	1億7,100万円	江津西浄化センターは、接続件数の増加により、処理能力の65%まで伸びており水処理施設を増設するもの。

可決

原案

賛成

多数
(一般会計補正予算)

- ◆予算審議結果
- 原案可決【賛成全員】
- ・公共下水道事業特別会計補正予算
- ・水道事業会計補正予算
- ※なお、その他に審議された議案
- 〔市長提出議案〕
- ◆同意議案(1件)
- ◆承認議案(10件)

- ◆条例議案(9件)
- ◆一般議案(1件)及び
- 〔議員提出議案〕
- ◇条例議案(1件)
- ◇一般議案(3件)
- については、いずれも同意、承認及び原案のとおり可決されました。

反対討論(一般会計)

多田 これまでの予算編成の踏襲であり、人口増、医師・看護師の確保、子育て支援、農林水産業に向けた肉付けがされておらず、中小企業者向けの中小企業信用保証料補助金の予算がなくなったままになっているため反対。

常任委員会 審議内容

総務文教委員会

◆人権擁護法案の成立に反対する意見書の提出について(陳情)

Ⅱ内容Ⅱ

憲法第21条で保障された国民の表現の自由が侵される恐れのある人権擁護法案の設立を反対する意見書を国に提出してほしい。

【委員質問】

問 現在の状況は。

答 平成14年の国会に内閣より提出されたが、平成15年10月の衆議院の解散に伴い廃案になっている。

(討論)

【反対討論】

●すでに廃案になっているので、改めて意見書を出す必要はない。

【賛成討論】

○なし

Ⅱ結果Ⅱ

『賛成者なし』により、不採択すべきもの

と決した。

◆江津市事務分掌条例制定について

Ⅱ内容Ⅱ

平成22年7月1日の組織、機構改革に伴い、部の設置及び所掌事務を改正するもの。

【委員質問】

問 課・係が増えることにより、人件費が200万円程度増えるとのことだが、諸経費も増えるのでは。

答 名称などの変更による看板の調達など、必要諸経費は出てくるが、極力抑えるように努める。

問 細分化により、少人数の課及び係が増えると思うが、負担増による職員の健康管理の充実を。

答 職員の健康管理には、これからも十分注意していく。

Ⅱ結果Ⅱ

異議なく原案のとおり可決すべきものと決

した。
※この他にも、条例議案6件、一般議案1件が審議されました。

建設厚生委員会

◆「永住外国人地方参政権付与」に反対する意見書の提出について(陳情)

(討論)

【反対討論】

●地方自治体に全ての住民が参加することは憲法に定める権利である。

【賛成討論】

○参政権は国民固有の権利であり、国籍を取得すればよい。

Ⅱ結果Ⅱ

『賛成少数』により、不採択すべきものと決した。

◆選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出について(陳情)

(討論)

【反対討論】

●家族の形はそれぞれであるべきである。

Ⅱ結果Ⅱ

『賛成者なし』により、不採択すべきものと決した。

◆子ども手当の廃止を求める意見書の提出について(陳情)

(討論)

【反対討論】

●子育て世帯は所得が低く、不況に苦しんでいる。子ども手当が支給されることで、定住対策につながる。

【賛成討論】

○財源の裏づけや経済効果もなく、廃止すべきである。

○このまま続ければ、将来子供たちの負担になる。保育所整備等で支援すべきである。

Ⅱ結果Ⅱ

『賛成多数』により、採択すべきものと決した。

◆改正国籍法の厳格な制度運用を求める意見書の提出について(陳情)

Ⅱ内容Ⅱ

国籍法第3条の改正により、日本国籍取得の際、偽装偽偽申請等による認知が生じないよう厳格な制度運用の導入を求める意見書を提出してほしい。

(討論)

【反対討論】

●国への要望としては不向きである。

●既に厳しい改正がされている。

【賛成討論】

○なし

Ⅱ結果Ⅱ

『賛成者なし』により、不採択すべきものと決した。

※この他にも、条例議案2件、一般議案2件が審議されました。



市民の声を行政に問う

※原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

市民サービスの確保を

市長／低下はない

機構改革



島田 修二

問 機構改革について、これまでの組織の検証と改革にかかる予算は。また職員の事務作業量増加や、名称変更などで市民サービスが低下するのでは。

答 中課制により問題点の把握や政策決定のスピードアップなど組織が効果的に機能している。中課制の良いところを残して組織を細分化したい。また人件費は200万円から300万円増を見込んでいる。職員相互の協力意識は向上しており市民サービスの低下はない。

問 パナソニックエレクタロニックスデバイス ジャパン株式会社江津工場閉鎖について、現状と失業者対策は。

答 7月末の工場閉鎖が決まっている。正社員70名のうち、15名は既に松江工場に異動。残り55名は7月末で異動の予定。正社員の退職者は10名で、失業者対策は、緊急雇用創出事業を活用し、約10名の新規雇用を創出するために、県に要望している。



閉鎖予定の江津工場

定住促進

中山間地域振興策は

市長／地域資源の活用

問 集落崩壊の懸念される中山間地域の格差を感じさせないよう、持続できる地域社会づくりのための過疎対策、振興施策は。

答 集落維持につながるよう、生活交通の確保、U・Iターンの推進による担い手確保や地域資源を活用した新たな産業の創出（ソーシャルビジネス江津モデルを申請中）、自然環境や伝統文化、歴史の保全と活用といった内容で、県の指針に基づき過疎計画を固め議会に諮りたい。

び空き家情報提供システムの整備により、4年間で44件91人の方が県内外から移住された。合わせて就業支援により一定の成果を上げた。空き家登録数を増やすことが課題で、今後全市的に進めたい。市営住宅化は今年度旧市内で3戸を事業化したい。

問 空き家対策の現状と課題、空き家の市営住宅化を含めた今後の取り組みは。

答 産民官が協働した空き家活用推進体制及



地域老人会による草刈作業（あおぞら学園）



森脇 悦朗

再生整備

駅前再生整備は

市長／計画策定し推進

問 駅前地区再生整備の方針、考え方は。また、市民・住民、議会の合意形成のもと進めるべきでは。

答 本市の顔となる中心拠点を整備し、江津駅周辺に都市基盤を充実させ、計画的な整備を進め市街地の再構築を図っていく。調査実施事業の協議検討を進めており、パブリックコメントなどにより広く市民の声を聞き反映させ合意形成を図る。

問 公共・公益拠点施設に図書館・歴史資料館を併設する話が新聞や巷に流出。複合雑居ビルに併設がベストか疑問に思うが考えは。



現在の駅前

頻繁に、気軽に利用できる、交流拠点機能をもつ有する施設とする。図書館等は要望も出されているがメリット、デメリット等も十分に専門家、庁内で検討し市民の意見を伺いながら推進する。

～クリック～
 <パブリックコメント>
 行政機関が政策立案等を行う際、その案を公表し、広く市民・事業者等の皆さんから意見や情報を提出してもらい、最終意志決定を行うこと。



石橋 孝義

水道料金の軽減を

市長／軽減へ取り組む

実態把握



茅島 昇

問 県からの受水100%依存し本年25年を迎える。水道事業経営は厳しく、人口減少傾向が見え不安を残しているが、市民も願う水道料金軽減を。

答 長年輕減等の努力をしたが、抜本的改善に至らず、平成20年度に三者総合的検討会が発足。水道事業対策



子どもまつり（地場産業振興センター）

特別委員会の努力によって、知事から発言を引き出した。その結果、受水単価が数千万円削減され、一部市民への還元に取り組む。

問 保育所の受け入れや市独自の支援、U・Iターンや求職中の対応は。子育て中の保護者が安心して子供を預けられる支援策等は。

答 保育料は基準の30%負担軽減し、第3子以降は全額無料、保護者が求職活動をする場合、約束書により3ヶ月の期限付きで入所可能。求職困難時は面談し対応する。保護者が安心して預けるためにも「認定こども園」を検討し、保育環境の整備を着実に実施する。

漁業育成

水産業育成施策は

市長／資源管理型漁業へ



盆子原 民生

問 漁獲量の減少はかなりの右肩下がりで、この現状把握と漁業従事者の実態、また漁業を守る行政としての施策は。

答 漁獲量についてはかなりの減少がある。漁業従事者についても減少傾向にあるのも事実。年齢別に於いては二極化の傾向が顕著に

現われている。また、獲る漁業からつくり育てる資源管理型漁業への移行を目指し、漁礁の設置等継続して図れるよう検討する。

問 水産業にとって大きな問題は後継者不足。年齢二極化の傾向は従事者不足につながり、早急な後継者育成施策が必要では。

答 後継者の育成施策として、U・イターン希望者に空き家の紹介に合わせ、就業の場として漁業への情報発信を行う。また鮮度を保つ活け締め技術などの伝承、漁場の確保等、所得向上としてあらゆる催しを通して、地元で獲れた魚の消費拡大PR等を実施する。



栽培漁業へヒラメ稚魚の放流

市政運営

今後の市政運営は

市長／合併の総仕上げ



山根 兼三郎

問 3期12年間の総括と今後の市政運営は。

答 就任当初は財政健全化のために行財政改革を断行し、2期目は江津・桜江との県内で最初の合併を果たし、3期目は定任対策に取り組んできた。今後は新市建設計画の総仕上げ、第5次総合振興計画の着実な推進に加え、新たな産業

の創出に努め雇用の拡大を目指す。

問 男女共同参画社会を推進するためには、女性の市政参加への環境整備や啓発をしていくべきでは。

答 基本目標の「政策方針決定過程への男女の参画」のために、審議会・委員会への女性の委員数の拡大に努めるとともに、人材育成

に地道に取り組む必要がある。

問 地方自治のために地方の政治力を向上していく必要がある。公正な選挙が行われるよう法令の遵守が求められるのでは。

答 政治活動と選挙運動とは不明確な部分があり、県の選挙管理委員会と連絡確認をしている。



3月に開催された記念式典

財政運営

中長期の見通しは

市長／国の財政対策を危惧



山本 誉

問 先を見通した財政運営が求められている。合わせて輝くまちづくりの進め方は。

答 国の地方財政計画を踏まえ、機構改革を行う中から長期的展望に立ち、新市建設計画の総仕上げに取組む。

また教育による人づくり、人材育成のための教育力・人間力・文化力を高めて、きらりと輝くまち、地域の活力を生み出す。

問 都市計画課より江津駅前地区再生整備の基本方針が示されたが今後の進め方は。

答 地元の活性化協議会、商店会、商工会議所や有識者など含めて協議検討している。今後、公共施設や中心市街地活性化の基本

計画の策定を行う。図書館建設については基本構想に基づき、今後

建築の専門家の委員など増やし基本計画を論議する。



再生整備が急がれる江津駅前通り

医療費助成の拡大を

市長／助成は難しい

医療費



多田 伸治

問 子どもの医療費軽減を望む市民からの意見についての考えは。県が制度を拡充するが、これと併せて助成の拡大を。

答 義務教育就学前児童の医療費無料に取組んでいる。医療機関との相談も必要で、医師不足を解決する必要があるため、医療費だけ



安心の子育て支援を（渡津保育所の夏祭り）

の助成は難しい。また、県からの負担軽減だけでは難しいと考える。

問 市内の離職者の把握は。把握するため雇用対策の部署を作るべきでは。雇用対策の要請を行ったが、補正予算に反映されていないのでは。

答 ハローワークが把握しているため、市で

は把握していない。農林商工課に相談窓口を設けている。市民課にも窓口を設け、広報でも知らせている。解雇があれば、企業に対し職員を派遣し対応している。雇用環境の回復が重要と考えており、産業の振興を図るため企業支援をし、雇用環境の拡大に取り組む。

機構改革

人口減少対策は

市長／関係部署と連携



藤田 厚

問 合併総仕上げ実現に向けた機構改革について、具体的な変更点は。人材育成・職員採用試験についてと定住係の人員配置と業務は。

答 分掌事務見直しによる責任の明確化・事務の簡素化・決裁のスピード化・迅速化を行う。職員採用は継続的に採用し、地域主権を支える人材を育成。また、業務をオールマイティーに出来る人材育成を進める。人員配置については全体的に検討中で、中山間地域の定住対策を中心に行う。

振興部、そして県企業立地課と連携し、医療・福祉・介護・教育、様々な施策での施設拡充を含め取り組む。国の子ども行政の方向性を見

問 働き場の確保による人口減少対策は。子ども行政一元化の方向性と、中心市街地再生室の人員と業務は。

答 政策企画課や産業



中心市街地再生室による会議風景

議会豆知識

【議会の招集と会期の決定】

議会の招集は議会を開くために行われるもので、急を要する場合を除いては、開会の7日までに市長が告示して行います。

議会の会期は、議会の会議を行う期間で、議会の議決により招集された日から起算して「何日間」と定めます。

このように、議会の招集は会期を開始させる絶対条件であり、権限は市長に属します。

また、会期は法的な議会活動の期間であり、議会が付議事件の多少を考慮し自主的に議決するもので、市長にその決定権はありません。

【提案権】

提案権とは議会に議案を提案する権限のことをいい、発案権とも言います。

地方議会の発案権は、原則として市長と議員にあります。その一方に専属する場合と、双方に属する場合があります。

発案権の所屬として、議会の

議決する議案には、左記の3種類があります。

① 議会の議決が直ちにその地方公共団体の意思として成立するもの（団体意思の決定）

条例、予算が代表的なものです。しかし、予算については自治法に長の専属と決められています。条例については、長及び議員の双方にあるものと、その一方のみが有するものがあります。

② 議会の議決が、単に議会の意思を決定することとまるもの（機関意思の決定）

議員に提案権が専属しています。例えば、意見書の提出、議員の懲罰、会議規則の制定などです。

③ 長がその権限に属する事務を執行するに当たり、その前提として議会の議決を要することとされているもの。

提案権は長に専属しています。例えば、副市長の選任、監査委員の選任などです。



請願と陳情

選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出について(陳情)

=内容=

家族が同じ姓を名乗る日本の一体感ある家庭を守り、子どもたちの健全な育成を願い、民法改正による選択的夫婦別姓制度の導入を反対する意見書を国に提出してほしい。

不採択（賛成者なし）

子ども手当の廃止を求める意見書の提出について(陳情)

=内容=

平成22年3月26日に国会で成立した子ども手当は、財政破綻を回避し、子や孫たちの利益を守るためにも廃止すべきであり、国へ意見書を提出してほしい。

<賛成意見>

なし

<反対意見>

多田 子育て世帯の多くは所得が低く、政府調査で経済的支援を求める声が7割あり、子どもの7人に1人が貧困状態である。財源確保に消費税増税や控除廃止があれば子ども手当て廃止に賛成だが、支給される世帯以外へ負担増がなく、子育て支援は必要であるため反対。

採択（賛成多数）

島根県石見地方バス路線確保に関する国・県による支援を求める意見書の提出について(請願)

継続審査

改正国籍法の厳格な制度運用を求める意見書の提出について(陳情)

=内容=

平成21年1月1日に施行された国籍法第3条の改正により、日本国籍取得の際、偽装虚偽申請等による認知が生じないように厳格な制度運用の導入を求める意見書を国に提出してほしい。

不採択（賛成者なし）

「永住外国人地方参政権付与」に反対する意見書の提出について(陳情)

=内容=

中央、地方を問わず国民固有の権利である参政権を、外国籍を持つ者に安易に付与すべきではなく、外国人に参政権を付与することに反対を求める意見書を国に提出してほしい。

不採択（賛成者なし）

人権擁護法案の成立に反対する意見書の提出について(陳情)

=内容=

包括的な人権擁護を目的とした、いわゆる人権擁護法の成立に反対することを求める意見書を国に提出してほしい。

不採択（賛成者なし）

議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多	横	藤	山	森	島	茅	石	盆	河	藤	田	山	永	福	土
				田	田	間	根	脇	脇	橋	子	野	田	中	本	岡	原	井	
				伸	省	義	兼	悦	修	昇	孝	原	正	厚	直	文	静	昭	正
				治	吾	明	三	郎	二	二	義	生	行	厚	文	文	馬	平	人
議案第48号	特別委員会の設置・委員の選任について	6月10日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	特別委員会の設置・委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	監査委員の選任について	//	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第1号	専決処分報告について(3/23専決第1号)	6月15日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分報告について(3/23専決第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号	専決処分報告について(3/23専決第3号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	専決処分報告について(3/31専決第4号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	専決処分報告について(3/31専決第5号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第6号	専決処分報告について(3/31専決第6号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第7号	専決処分報告について(3/31専決第7号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第8号	専決処分報告について(3/31専決第8号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第9号	専決処分報告について(5/21専決第9号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第10号	専決処分報告について(5/31専決第10号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	江津市事務分掌条例の制定について	6月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	職員の育児休業等に関する条例の制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	職員の勤務時間に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	職員の休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	江津市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	水道事業の事務部局の職員に、職員の給与に関する条例等を準用する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	江津市工場立地促進条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	辺地に係る総合整備計画の変更について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成22年度島根県江津市一般会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	//	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	平成22年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	平成22年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	江津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	特別委員会の設置・委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 賛成 ● 反対 斥 除斥(選任予定者のため)

議

長

議員紹介

- ①氏名(年齢)
②住所 ③期数
④会派

5月30日に実施されました「江津市議会議員選挙」において当選し、任期(4年間)を遂行される議員16名を紹介します。
※期数の多い順に掲載・同期の場合は、年齢順(6月1日現在)



たなか なおふみ
①田中 直文 (68)
②桜江町市山
③3期④創政クラブ



やまもと ほまる
①山本 誉 (52)
②和木町
③4期④市民クラブ



ながおか しずま
①永岡 静馬 (55)
②二宮町神主
③4期 ④なし



ふくはら しょうへい
①福原 昭平 (69)
②敬川町
③4期 ④創政クラブ



ほんこ はら たみお
①盆子原 民生 (64)
②和木町
③2期 ④政研クラブ



こうの まさゆき
①河野 正行 (51)
②二宮町神主
③3期 ④創政クラブ



ふじた あつし
①藤田 厚 (60)
②桜江町鹿賀
③3期 ④政研クラブ



どい まさと
①土井 正人 (64)
②松川町下河戸
③3期 ④創政クラブ



もりわき えつろう
①森脇 悦朗 (48)
②跡市町
③2期 ④創政クラブ



しまだ しゅうじ
①島田 修二 (51)
②後地町
③2期 ④市民クラブ



かやしま のぼる
①茅島 昇 (57)
②嘉久志町
③2期 ④創政クラブ



いしばし たかよし
①石橋 孝義 (62)
②都治町
③2期 ④創政クラブ



ただ しんじ
①多田 伸治 (35)
②渡津町
③1期 ④なし



よこた しょうご
①横田 省吾 (58)
②江津町
③1期 ④なし



とうま よしあき
①藤間 義明 (59)
②都野津町
③1期 ④創政クラブ



やまね けんざぶろう
①山根 兼三郎 (43)
②都野津町
③2期 ④創政クラブ



江の川河川敷を芝生化 市民200人が苗植え参加

議員一般質問から1年 芝生化実現

昨年の6月定例会で2人の議員が一般質問した芝生化の推進について、本市が前向きに検討し、平成22年度一般会計において、1,207万円で予算化された「リバーサイドパーク天然芝生化新設事業」が実現された形となりました。

河川敷に緑のじゅうたんを造ろうと、江の川右岸の広場で6月27日に、市民200人が3万4000本の芝生の苗を植えました。来年の春には、サッカーなどのスポーツ交流や市民の憩いの場として本格的に使用できるそうです。

これからも、ストレス社会の中で、運動や情操教育などで効果のある芝生化を幼稚園、保育所、小・中学校の園庭・校庭にも進められることが望めます。



広場に芝生を植える市民の皆さん

表彰

◇江津市政功労表彰

(議員12年以上)

・福原 昭平

・永岡 静馬

・山本 誉

・長原 富夫

・川上テル子

◇全国市議会議長会

特別表彰

(議員20年以上)

・室安 延博

・山根 英毅

◇中国市議会議長会

特別表彰

(議員20年以上)

・室安 延博

・山根 英毅

(議員16年以上)

・坂本 照良

・藤代 昌希

(議員12年以上)

・福原 昭平

・永岡 静馬

・山本 誉

・川上テル子

◇中国市議会議長会

正副議長普通表彰

(正副議長3年以上)

・福原 昭平

◇中国市議会議長会

普通表彰

(議員8年以上)

・土井 正人

・河野 正行

・門 屋臣

・藤田 利作

・長原 富夫

人事

監査委員

・田中 直文

お知らせ

○次回定例会日程

9月1日(水)から

9月22日(水)までの

予定です。

○請願・陳情の

受付について

請願書及び陳情書の

受付は、本会議初日の

8日前の午前中までで

す。

編集後記

改選が終わり新しいメンバーでの編集作業となりました。更なる開かれた議会を目指す本市議会にとって、広報活動は重要な位置づけと言えます▼市民の皆様に分かりやすく、読んでもらえる誌面づくりを心がけ、研鑽を重ねていきたいと思えます▼現在、本会議のCATV放映は一般質問だけでしたが、定数減により放送時間に余裕ができましたので、初日

も放送できるように、協議し、実現するよう努めてまいります。(森脇悦朗)

編集・発行責任者

議長 土井 正人

議会広報・

情報公開対策

特別委員会

委員長 森脇 悦朗

副委員長 島田 修二

委員 多田 伸治

委員 横田 省吾

委員 河野 正行

委員 藤田 厚

募集中

市議会では、市民の皆様のご意見等をお待ちしています。

